

県内経済の動き

概況

〔2022年6月～2022年8月の動き〕

指標は全体的に悪化、新型コロナの感染者減少による景気の持ち直しに期待

鉱工業生産指数（6月）は4カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（7月 細島港）は2カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（7月 全店ベース）は10カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（8月）は12カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（7月）は2カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（8月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（7月）は前月比▲0.01ポイントの1.44倍で、8月の企業倒産は前月比横ばいの0件、負債額は同0円となった。

一部を除き生産・消費全般の指標は悪化した。8月下旬から新型コロナ感染者は減少しており、行動の活発化による県内経済の回復が待たれる。